

麻しん（はしか）の注意喚起～麻しん患者の発生について～

令和7年1月30日(木)、岡山市内の医療機関から麻しん(臨床診断)の届出があり、岡山県環境保健センターで検査を実施したところ、令和7年1月31日(金)麻しんウイルス陽性であることが判明しましたのでお知らせします。

報道に際しては、患者のプライバシー保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

1 発症者の状況

40歳代、男性

症状:発熱、発疹、腸炎

2 経過

1月18日(土) ベトナムから帰国

21日(火) 発熱(発症日)

22日(水) 下痢

24日(金) 市内医療機関(病院)を受診

27日(月) 全身に発疹出現したため、市内医療機関(病院)を受診し、入院

30日(木) 麻しん疑いで市保健所に届出

3 その他

- ・感染源は国外からの持ち込み
- ・患者はすでに退院し症状は軽快化
- ・接触者については調査中。
- ・岡山市では平成26年(2014年)以来の届出

4 注意喚起の内容

・麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

・麻しんは感染力がきわめて強い感染症で、典型的な症状として、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いたあと、39度以上の高熱と発疹が出現します。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防することができません。

今のところ、感染のおそれがある期間(1月20日以降)に、公共交通機関等、接触者が特定できない施設の利用はありませんが、麻しんを疑う症状がある場合は、保健所へ連絡をしてください。

予防接種が最も有効な予防方法であり、麻しんの定期予防接種は、1歳児、就学前の年長児の2回接種です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751